

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-20 交通体系整備事業 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名			
					1030	交通体系整備事業		
主管課	交通政策課		関連課					
分野名	総合交通							
目標 (目標値)	古都鎌倉の歴史的資源・良好な環境を活かしつつ、交通体系の改善に向けた取組みを進める。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	5,115千円	4,227千円					
	(国・県)			指標と評価				
	(負担金等)			指標	ノンステップバス導入 における補助			
	(一般財源)	5,115千円	4,227千円	評価	◎			
	人員配置数	3.6人	3.0人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	32,349千円	28,506千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー	鎌倉市交通需要マネー ジメント会議・関係自治 会	鎌倉市交通需要マネー ジメント会議					
事務事業 運営経費	総事業費	37,464千円	32,733千円	20年度	5	5		
	市民1人当 りの経費	212円	185円	21年度	4	4		
	対象者1人 当りの経費			22年度	0			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	4			
				最終年度 (年度)				
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・交通不便地域の解消を図るための地域需要に見合った公共交通の導入。 ・平成20年度交通社会実験が中止となった今小路通り歩行者尊重道路整備計画(案)の進捗を図る。 ・北鎌倉駅周辺整備の一環として実施される北鎌倉駅舎のバリアフリー工事の地元と事業者との調整を図る。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度 の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・新たな公共交通の確保策として、地元企業と地域住民との協働運行等の提案を行い、住民活動を支援した。 ・交通社会実験は、実験内容を修正し実施した。 ・北鎌倉駅舎のバリアフリー化工事については、地元と事業者との協議の場を設定し調整した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・今小路通り歩行者尊重道路整備計画(案)の策定までに至らなかった。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・交通不便地域の解消を図るため、地域の需要に見合った公共交通の導入を進める。 ・交通社会実験の結果を踏まえた検討を専門部会で行い、今小路通り歩行者尊重道路の推進を図る。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	交通不便地域の解消のために、様々な手法を検討していく。今小路通り歩行者尊重道路の整備計画(案)の策定に努める。		評価結果	改善の必要性	本市の交通問題の解決のためには、地域に根ざした交通体系づくりが重要となる。今後も、市民、商業者、交通事業者と協議調整を図って行く。		
B	有			B	有			
課長名		交通政策課長 高橋一也		部名・部長名		都市整備部 山内廣行		